

# 中田かわら版 4月号

～中田地区の福祉保健活動をお知らせします～

発行：中田の福祉と保健を考える会  
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：泉区役所 泉区社会福祉協議会  
横浜市踊場地域ケアプラザ

街の美化活動に奮闘

## 環境事業推進委員



不法投棄のゴミの山（現在は綺麗です）

前、ある自治会の集積場所に高さ 2 メートル近い冷蔵庫が捨てられていたこともある。自分で処理できるものは解体したり潰したりするが、手に負えないものは資源循環局（美化推進課）に報告するのも仕事の一つだ。時には分別の注意や指導、空き缶拾いや各種リサイクル活動にも参加する。

ところで、数ある団体で「事業」という名が付くのはここ環境連絡協議会だけである。横浜市が中期政策プランで環境型社会の現実に向けて「平成 22 年度における全市のごみ排出量を平成 13 年度に対して 30%削減」を目標を定めれば、現実に向けて行動する。それは良質な都市環境作りであり、次世代の安心して住める街づくりでもある。これはれっきとした事業である。中田の環境事業推進委員の皆さんには、街中でポイ捨てキャンペーンや中田連合文化祭での「環境リサイクルコーナー」、ごみ分別の指導、啓蒙などいたるところでお会いするかも知れない。自称美化作業員は今日も街中を歩いている。

「環境事業推進委員は、市長の委嘱を受けて各区の連絡協議会が中心となり自治会・町内会はもとより地域の他の団体とも連携しあって、ゴミの軽減・リサイクル、地域の美化や清潔の保持などに取り組みます。」

横浜市資源循環局が環境推進委員への手引書として冒頭に書かれている言葉だ。現在、中田の環境事業推進連絡協議会（奥津勝司会長、向根下）には各自治会から選出された 40 人の委員が日夜活動している。日夜は少しオーバーかもしれないが、ごみは各家庭から絶え間なく排出されるものだし、決められた曜日に正しく出されているか、分別は出来ているか、カラスが集積場所からごみを散らかしていないかなど、片時も頭から離れないのが環境委員の心情と言っている。

不法投棄にも目を向けなければならない。あるときは敷き布団、掛け布団など 3 枚がどさっと捨てられたり、ガスストーブ、テレビ、古自転車は殊に多い。以



ゴミ処理場見学

（環境推進委員 宮田貞夫）

# 5月のイベント

## 【中田地区社会福祉協議会よりボランティアの募集】

中田地区社協では独自事業として右の事業を毎月実施しています。地域を皆で支えることを目指して、ご協力いただける方を募集しています。ご興味のある方は踊場地域ケアプラザ生田(801-2114)までご連絡ください。各事業にご紹介いたします。

- ・ **20日会**…毎月20日、踊場地域ケアプラザで65歳以上の独居高齢者を対象に開催する食事会
- ・ **友遊会**…毎月第2木曜日、中田町会館で65歳以上の方を対象にしたお茶とゲームの会
- ・ **中田社協子育てサロン**…毎月第4木曜、葛野コミュニティハウスで開催する、幼児と母親の育児サロン。

## 定期イベント情報

- 中田友遊会（高齢者サロン） 5月13日(木) 13:30～15:00 中田町会館
- 中田子育てサロン 5月14日(金) 10:15～11:45 踊場地域ケアプラザ
- 町ぐるみ健康づくり活動 5月1日・15日(土)10:00～11:30 立場地区センター
- 春日健康づくり教室 5月2日16(日)9:30～11:00 葛野コミュニティーハウス
- 白百合愛児園（連絡先805-5911）・園庭開放 毎週木曜日・土曜日  
・ 図書の日 第1第4火曜 10:00～11:00
- 中田社協子育てサロン 5月27日(木) 10:15～11:45 葛野コミュニティハウス
- 二十日会(一人暮らし高齢者の食事会：要予約) 5月20日(木) 11:45～踊場地域ケアプラザ
- 憩いの会(宮の台サロン) 5月6日(木)12:00～14:30 宮の台町内会館
- ひまわり(広町サロン) 5月10(月)13:00～15:00 広町自治会館
- 中田希望会(中途障がい者の会) 5月13日・27日(木) 踊場地域ケアプラザ
- にこにこパーク(親子の広場) 毎週月・水・金 10:00～15:00 白百合ベビーホーム
- 青少年居場所作り 5月15日(土) 9:30～11:30 立場地区センター

### ◆ 環境事業推進連絡協議会の推移

昭和45年(1974)、自治会・町内会から推進された環境協力員が始まり。当初はし尿の汲み取り回収の調査やごみ集積場所の清掃などに取り組んでいた。昭和56年度から「ヨコハマさわやか運動」の一つとしてごみ集積所の清潔保存、地域の清掃活動のリーダー役、および資源の回収を中心とした「ごみの減量化・資源化」の普及啓蒙活動を行うようになった。

昭和58年度には協力員活動をより効果的に進めるため「環境事業協力員連絡会」を設立、「きれいな街づくり」を目指す地域活動へ転換。現在の名称に変わったのは平成5年からで、これまでの条例を全面的に改正して「廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例」に発展させ地域での協力体制の強化を図るようになった。(宮田)



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 生田(いくた)まで問い合わせください。

TEL 801-2114  
FAX 801-2923

～一人ひとりがCO<sub>2</sub>を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～